



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 株式会社能作：伝統工芸に轍をつける

5

富山県高岡市は、鋳物生産において国内9割以上のシェアを誇り、仏具や茶道具、銅像といった鋳物を生産している。近年では「ゲゲゲの鬼太郎」や「サザエさん」などの人気アニメキャラクターの銅像も手がけている。そのような高岡市において年間13万人もの工場見学者を集めるのが、1916年創業の鋳物メーカー・株式会社能作である。4代目の能作克治氏は、4つの「しない」経営方針を貫く。

10

- 儲けを優先しない（儲けよりも、楽しむことを優先する）
- 社員教育をしない（教えるのではなく、自分で気づかせる）
- 営業活動しない（営業する側ではなく、営業される側になる）
- 同業他社とは戦わない（競争ではなく、共創する）

「地元の高岡で人に愛され、地域に誇れるものづくりをする」「より能（よ）い鋳物を、より能（よ）く作る」を信条に高岡だけでなく日本の伝統工芸を盛り上げようとしている。

15

## 伝統工芸と高岡銅器

国内には伝統工芸とされるものが約1300種類もある。その伝統工芸品の中でも、経済産業大臣が「伝統的工芸品」として指定するものが全国に236品目ある。伝統的工芸品として経済産業大臣の指定を受けるための要件は、「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」（伝産法）の第2条で以下のとおり規定されている。

20

1. 主として日常生活の用に供されるものであること
2. その製造過程の主要部分が手工業的であること
3. 伝統的な技術又は技法により製造されるものであること
4. 伝統的に使用されてきた原材料が主たる原材料として用いられ、製造されるものであること

25

本ケースは株式会社能作の能作克治社長へのインタビュー及び能作克治著『社員15倍！見学者300倍！踊る町工場—伝統産業とひとをつなぐ「能作」の秘密』（扶桑社）をもとに磯辺剛彦教授が作成した。本ケースはクラス討議の基礎資料として用いるもので、経営上の適切もしくは不適な状況を例示しようとするものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 磯辺剛彦（2021年5月作成）